

木津川市社会教育委員会 開催結果要旨

会 議 名	令和8年度 第2回 木津川市社会教育委員会		
日 時	令和8年6月18日(木) 13時30分～15時00分まで	場 所	庁舎北別館 会議室I
出 席 者	委 員	■高原 和子 ■木村 勝 ■三上 かず子 ■花田 康子 ■橋本 京子 ■井上 若菜 ■渡邊 素子 ■藤澤 正典 ■今井 清美 ■石田 康二 ■芝原 昌代 ■武田 光弘 ■河原 勝彦 ■藤木 京 ※ □:欠席者	
	事 務 局	堀課長補佐、神田係長、徳田係長	

1. 開会

- ・高原委員長から開会にあたり挨拶があった。

2. 議題

①部会からの報告について

5月28日に開催した第2回生涯学習推進計画実践部会（以下、「計画部会」という。）について、木村部会長より報告された。

- ・計画部会では令和8年度に放課後子ども教室、地域学校協働本部、コミュニティスクール等について議論する。
 - ・恭仁小学校、加茂小学校の令和9年度での放課後子ども教室開設への動きを注視する。
 - ・来年の山城地方社会教育研修会研修会の発表に向けて準備する。
- また、どの委員が発表することになっても大丈夫なように、活動を把握していく。

②生涯学習事業に関する事業の令和7年度実施状況調査について

資料を基に令和7年度実施状況調査結果について説明を行った。

- ・生涯学習推進計画に基づき集計したものと、分類別に集計したものの2つの集計結果を作成した。
- ・事業数が236事業と令和6年度と比べて若干増加しているが、事業の掘り起こしの精度が上がったことが要因と考えている。
- ・今後、調査結果を庁内に情報発信し、事業検討に役立ててもらおうと考えている。
- ・本調査は生涯学習に関する事業数を把握するために実施しているため、生涯学習推進計画に基づいて集計すると、当てはまらない施策が出てくることから、本調査は事業数の推計を見るために行い、計画に基づく評価は以前に提示した形で検討していきたい。

(委 員)

この調査結果をもとに生涯学習に関する事業を検討するプロジェクトチームを発足するのか。

(事務局)

現時点で、検討する組織等を立ち上げる計画はない。

(委 員)

今回の調査を担当者間のみで終わらせるのではなく、部長同士での議論や情報提供に活用できないか。

また、生涯学習の推進は生涯学習推進計画に基づいて行うべきであることから、計画に基づいた集計は必要だと思う。

広報紙や LINE での情報発信など、今回の調査に当てはまっていない施策も掘り起こすことができるのではないか。

(委 員)

2つの集計方法で事業数が同じとなっているが、生涯学習推進計画の複数の施策に該当する事業はあるはずなので、必ずしも同数とならなくても良いのではないか。

3. その他

6月26日の山城地方社会教育委員連絡協議会及び京都府社会教育委員連絡協議会の確認を行ったほか、事務局から社会教育に係る情報提供を行った。

次回会議の日程調整を行い、次のとおり開催することとなった。

・全体会 8月26日(水) 午後1時30分～

4. 閉 会

木村副委員長から閉会の挨拶があった。

以上

その他特記事項

なし